

# 平成28年度予算見積調書

課室名: ウーマノミクス課  
 担当名: 女性チャレンジ・女性就業相談担当  
 内線: 3963 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B123	在宅ワーク総合支援事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	女性キャリアセンター運営費		
事業期間	平成28年度～平成31年度	根拠法令	雇用対策法第5条			戦略項目	11	女性がいきいきと輝く社会の構築		
						分野施策	020202	女性のチャレンジ支援と男女共同参画の推進		
<b>1 事業の概要</b> 在宅ワーカーの育成と企業への働きかけを行うとともに、新たに在宅ワーカー専用相談窓口設置、企業向けアドバイザーの設置・派遣による相談体制の整備やマッチング支援などの実施により、在宅ワークを希望する女性を総合的に支援する。  (1) 在宅ワーク支援委託費 34,448千円 (2) 在宅ワーク支援運営費 123千円 (3) 保育業務委託費 1,656千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 在宅ワーク支援委託費 ・相談体制の整備 在宅ワーカー専用相談窓口設置 在宅ワークに関するトラブル解決相談 企業とのマッチング支援、情報提供 企業向けアドバイザーの設置・派遣 在宅ワーカーへの発注に関する相談、在宅ワーカーとのマッチング支援、情報提供 ・在宅ワーカーの育成 入門コース 740人(9回) 在宅ワークの業務内容、心得、事例等 スタートアップコース 320人(8回) 基礎知識習得、立ち上げノウハウ、OJT等 スキルアップコース 100人(5回) 営業ノウハウ、OJT、e-ラーニング併用 現役ワーカーと受講生との交流会 150人(3回) 人脈づくり、情報交換の場を提供 ・企業への働きかけ 在宅ワーカー活用セミナー 企業150社(5回) 在宅ワーカー活用を中心とした人材活用方法、事例紹介、個別相談 企業と在宅ワーカーのマッチング交流会 企業120社・在宅ワーカー300人(6回) 在宅ワーカーの活用を希望する企業と在宅ワーカーが直接、受発注について交渉する場を提供 イ 在宅ワーク支援運営費 関係機関連絡調整旅費、事務用消耗品 ウ 保育業務委託費						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)				(2) 事業計画 平成28年度就業者数目標 200人以上 (3) 事業効果 在宅ワーカーの育成のみならず、相談体制の整備、企業への働きかけ、マッチングも同時に行い在宅ワーカーの就業を促進させる。						
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 創業ベンチャー支援センターや県内経済団体等と連携する。						
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1.3人=12,350千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		諸収入								
決定額	36,227	63						36,164	858	
前年額	37,085	48						37,037		